

研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

小児水腎症術後患者の長期予後の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2000年4月1日から2024年12月31日までに、昭和医科大学病院または昭和医科大学江東豊洲病院で水腎症の手術を行った0～15歳の小児患者さん。

2. 研究目的・方法

水腎症とは腎臓で作られた尿がうまく尿管から膀胱に流れず、腎臓付近に停滞してしまう状態です。小児の水腎症は原因として腎孟尿管移行部通過障害がもっとも多いと言われています。日本では日本小児泌尿器科学会が発行した小児先天性水腎症（腎孟尿管移行部通過障害）診療手引き2016をもとに診療が行われています。おもに超音波検査で水腎症の程度を評価して、軽度の水腎症は自然軽快がえられるため保存的に経過をみる。高度の水腎症で自然軽快が得られないものは手術を行っています。このように診断と治療についての診療アルゴリズムは確立されています。手術後のフォローアップについては、超音波検査、核医学検査、尿検査で経過をみていきますが、検査の時期やフォローアップ期間については明確に確立されていないのが現状です。今回、昭和医科大学で水腎症の手術を行った小児患者さんの情報をもとに、術後フォローアップの診療指針を提案したいと考えています。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

手術時年齢、性別、水腎症以外の疾患の有無と内容、水腎症の患側、身体的症状、超音波検査所見（胎児期、生後、術前、術後）、血液尿検査所見（生後、術前、術後）、核医学検査所見（術前、術後）、手術内容、術後合併症、術後フォローアップ期間、最終転帰。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和医科大学病院 小児外科 氏名 中山 智理

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院 小児外科

氏名：中山 智理

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8789